

フィリピン

Vol.1 フィリピンタイム!??



今回は、フィリピンにお住まいの笹山真琴さんにお話を伺いました。

現在はフィリピンのどちらにお住まいですか？

メトロ・マニラという都市群の中のマカティ市です。
首都のマニラが政治の中心なら、マカティは経済の中心地と言われています。

フィリピンで生活してみてどんなところが大変ですか？

フィリピンの方は、国民的に「今が幸せならいいや♪」というスタンスの方が多いと言われています。ですので、例えば、時間を守らなかったり、仕事をすっぴかして家族旅行に行ってしまったり…たまにそういう、日本育ちでサムライ魂を持つ私から見ると「!??」な事件に出くわします…。また「フィリピンタイム」という、独特な時間の概念があって、待ち合わせに大幅に(2時間~3時間など)遅れることましょっちゅう…しかも、あまり罪悪感なくやります(笑)

そういうのんびりした気質に合わせるのは、本当に大変ですね。

また、フィリピン人は誇り高き民族で、人前で大声で怒鳴るなどの、プライドを傷つける行為は絶対にしてはいけないと言われています。

また、最近はまだだいぶよくなりましたが、日本より治安が若干悪いのは否めませんね…。例えば夜遅くに女性だけで出歩かない、タクシーも極力乗らない、バッグに常に気を払っておくなど、自分で自分を守る自覚がおのずと身に着きます。

フィリピンのどんなところに魅力を感じますか？

フィリピンの方はとっても陽気で、オープンなので、フランクなコミュニケーションが好きな私には馴染み易かったです。

日本人にとっては最初こそ「その日暮らし」的なスピリットも、裏を返せば家族との時間を大切にしていたり、過度にストレスを溜めない術が本能的にできているとも取れるので(笑)。日本人もそこだけフィリピンの方のスピリットを真似してもいいかもしれませんね。

シリアスになった時、周囲のフィリピン人の方に「いいじゃん、そんなこと気にするなよ！」と励まされたことは何度もありますよ。

ちなみに、国民が「自分の人生って幸せだな」と思う値、みたいなのが世界で一番高いのがフィリピンだってご存知でしたか!?

実際、フィリピン人の方の多くが英語が堪能ですが、殆どの方は「スーサイド(自殺)」という言葉を知らないのです。これは、多くのフィリピン人に「自殺」という概念がないからだとされています。これってちょっとすごいですよ。なので周囲の方々を見ていると、小さなことでよくよしている自分がばかばかしくなって「なーんだ、私の悩みなんて小さいじゃん。気楽にやろ〜♪」と思えますね。

その他には何かありませんか？

皆さん歌がプロ級にウマイ!!これはほんと、フィリピンという国が誇れる一番のことかも(笑)と思うくらい。とにかく普通の人の鼻歌やハミングでも、びっくりするくらい上手なんです!

そして色彩感覚が日本とは全然違う!カラフルなのを好みますし、みんな派手好き!だから街を普通に歩いても、高速道路を走っても、広告などが全然日本と違って、ウキウキした気分になりますね。自分の仕事柄、そういう点には注目しちゃいますし、フィリピンのほうが自分好みかもと思います。

驚いたルールやマナーはありますか？

ルールやマナーに厳しくないところに驚きましたね。皆さん気にしない(笑)

でも、車の運転に関してなんですが、日本では“なるべく相手に道を譲りましょう”と習いますよね?フィリピンの人は絶対に道を譲らないんです。反対車線がすいていたら、平気で逆行もしてしまいます!

それと、ライトをチカチカさせるのって、日本では“お先にどうぞ”のサインですよ?フィリピンでは“俺が先に行く!”っていうサインなんです!!だから、運転する人は注意が必要です。私は日本でも車をぶつけていたくらいなので、怖くて運転はしません…。

フィリピンの生活の中で“ここを変えたい!!”と感じたところがありますか？

そうですね、根強い階級社会が残っているところでしょうか。すごく貧しい方がまだまだたくさんいます。また、スクーターと呼ばれる貧困街もたくさんあって、そこでは小さな子供が物乞いをしたり、強制的に物売りをさせられているシーンも、悲しいことに日常茶飯事なんです。

外国人は基本的に、物価が他国に比べて安いので豊かな生活を送れる人が多いですが、貧困層の方を目の当たりにすると、なんとかならないものかな…?と思いますね。

そこで、少しでもフィリピンで自立できる子供を増やしたい!!と思いから、ストリートチルドレンを養育する孤児院の活動に参加しています。純粋で頑張り屋な孤児たちを見て、衣食住、そして学、と技!を身に付けさせて、なんとかフィリピンをベターにしたいな、とおこがましくも思っています…。

こんなチャンスも、フィリピンに来たからこそ与えられたかなと思いますね。

自由で陽気な国、フィリピン。

人生満足度No.1!と言うのが、それを象徴していますね。

とは言え、全ての人々が満足出来ているわけではないはず。

今回お話を伺った笹山さんのストリートチルドレンを支援する活動で、一人でも多くの方がよりHAPPYになればと願います。

次回はフィリピンの誕生日や結婚式についてお届けします。



フィリピン

Vol.2 仕事中にバースデーパーティー！



前回に引き続き、フィリピン在住の笹山さんからお話を伺います。
今回は、フィリピンのお誕生日のお話です。

フィリピンのお誕生日とはどんなものですか？

お誕生日文化はフィリピンの面白いところですよ！

お誕生日を迎える本人が、同級生、同僚などに、ランチかムリエンダ(10時、3時のおやつ)を振舞うんですよ！職場に突然、ピザや中華料理がデリバリーされたり、立派なケーキが出てきたり、アイスクリームを缶ごと買って、みんなでデザートに食べたり。誰かのお誕生日となると「わーい、〇〇ちゃん、何用意してくれるんだろう♪」という感じで、職場中が盛り上がりますね。みんなで仕事も中断、お祝いしながら仲良く食事をします。

リッチな方だと出張アイスクリーム屋さんを呼んで、いろんな種類をお店みたいにサーブしてくれて…楽しいですよ。



会社以外でももちろんお祝いをします。フィリピン人は家族をとっても大事にするので、家族でお誕生日旅行に行ったり、家族のお誕生日は大切にお祝いしますね。

またフィリピンでは日本人から見ると「ちょっとその色は…」と思ってしまうような、ビビッドカラーの派手派手ケーキを好みます。そして、巨大！！アニメのキャラクターやお花など、主役のイメージに合わせて選びます。巨大&派手派手ケーキで有名な、国民的ケーキブランドもありますよ。

あなたが体験した中で「最も心に残った」お誕生日はどんなものでしたか？

我が家で雇っていたメイドさん、ハウスポーイさん(おうちの修理・管理・お掃除などをしてくれる男の子)がお金を持ち寄って、私がバッグ好き(笑)ということを意識して、お誕生日にバッグをプレゼントしてくれたんです！

もちろんそんな高級品ではないですが、ベージュのキャンバス地に茶色の合皮のアクセントがついた、私好みのバッグなんです！きっと普段私の服装などを見て、好みのものを一生懸命選んでくれたんだと思います。

限られたお小遣いから、そんな素敵なものをプレゼントしてくれて、本当にびっくりしたし、大感激でした！

もちろん彼らとは普段からお友達のように仲良くしていましたが、やはり雇い主ということでちょっと距離を置かれているのかなあ？と自分でも気にしたりしていたので、ほんとお友達みたいに誕生日を祝ってくれて、すごく心が温まりました。

日本では20歳から成人として認められてお祝いをしますが、フィリピンではそのような特別な誕生日はありますか？

こちらでは17歳からお酒も飲めますし、自動車免許も取れるみたいなのですが、本当に大人として認められて、盛大なパーティーをするのは18歳のお誕生日だそうです。

アメリカみたいにご両親から指輪がプレゼントされたり、昔からの名家や政治家のお子さんの場合は盛大なパーティーを開いて社交界にデビューするらしいです。庶民の子でも家族やお友達と18歳のお祝いを賑やかにするみたいですよ。

「フィリピンの人たちはとても派手好きだ！」と笹山さんもおっしゃる通り、バースデーケーキも日本ではなかなかお目にかかれないような、とても華やかなものでしたね。

次回はフィリピンのクリスマスや結婚式についてお届けします。

フィリピン

Vol.3 家族優先!!



今回はフィリピンの最終回です。
引き続き笹山さんからお話を伺います。

フィリピンのクリスマスを紹介してください。

フィリピンはキリスト教(カトリック)が国教なので、クリスマスは盛大です!!
「Ber」(9月、SeptemberからDecemberまでということです)が付くと、もう“クリスマスシーズン”といわれ、街にはイルミネーションがきらきら☆デパートなどのクリスマスセールなどもばんばん!
友人も会社の仲間同士でも、家族でも、みんなそれぞれささやかですがお互いクリスマスプレゼントを交換し合います! クッキーや小物、洋服など、相手の好みや自分のキャラに合わせて、みんなプレゼント選びに夢中になります!



プレゼントはどんなものですか?

フィリピンでは日本のお歳暮みたいに、ハムやチーズ、お菓子の詰め合わせをお世話になった人に渡したり、会社でその豪華セットが配られたりします。
とにかくクリスマス前は毎日のように楽しいプレゼントが沢山もらえるんです。

何か印象深いクリスマスの思い出はありますか?

フィリピンのクリスマスで、私の心に残っているのは…毎年なのですが、母が毎年毎年違った色合い、違ったコンセプトで、家中のクリスマスデコレーションをプロデュースしてくれること!
私がまだフィリピンに来たばかりの頃も、慣れない異国生活で、たまに日本が恋しくなったり、将来に不安を覚えたり、家族としゃべりなかつたり…そんな時期もあったのですが、そんな時に、母が家のクリスマスデコレーションを素敵に飾り付けてくれて…それで家族みんながちょっと晴れやかな気持ちになりましたね。



また去年もコンドミニアム(マンション)のうちの部屋の入り口に、またまた可愛く派手派手のデコレーションをしてくれて。コンドミニアムスタッフの女性に「あなたの家のデコレーションがコンドミニアムの中で一番最初よ! フィリピンでは悲しいニュースも多いけど、あなたの部屋のデコレーションを見るたびに、心があたたまります!」って言ってもらえて、すごく誇らしかったですね。「でかしたママ! 私のママが皆様のことも幸せにしてるわ!」みたいな(笑)
私もそうやっておうちを楽しくプロデュースできるような母親に将来なれたらいいなって思いました。

フィリピンでは、その他のお祭りも華やかなのでしょうか?

カトリックのイースター直前に盛大にお祭りが行われる地域があります。
各家庭(地元の名家のようなおうち)が、それぞれこのお祭り用のお神輿を所有していて、イースターの週の夜、家族で(フィリピンは兄弟姉妹、親戚縁者がどのおうちもめっちゃたくさんいます!)それを担いで町中を回るんです。それを見物するために、近所の人やその地域出身の人が大勢集まります。そしてなんと、この日は全然知らない人のおうちで振る舞われるお食事を自由に食べていいんですよ!
カトリックのお神輿はどれもすごくゴージャスで、電飾もいっぱい派手派手!!
みんな大はしゃぎで、すごく楽しいです。日本のお祭りにも似てますね。



それではフィリピンの結婚式はどんなものですか?

結婚式は日本の洋式ウェディングと同じような感じです。
ただもっとこだわりが激しくて、テーマカラーを決めて、招待状からテーブルセッティングします。ブライズメイド(花嫁さんのドレスのトレーンやベールを持つ女の子の友人達)のドレスの色まで揃えるんです! そういって派手派手プロデュースはフィリピンの方々の得意分野ですね。
また、すごく合理的で驚いたのが、新郎新婦へのプレゼントを招待客が「買われる」ことですね。
日本だとご祝儀というカタチで渡しますよね。こちらでは招待状と一緒に「新郎新婦がましがっているものリスト」のようなものを渡されて、指定デパートの中で新郎新婦が欲しいものを決めておくんです。新郎新婦との関係によって、自分もこれくらいお祝いを払うべきかな? という価格帯のものを、デパートでお客さんが事前に購入しておく、式前にそれらがいっぺんに二人のもとに配達される仕組みです。
プレゼントは、インテリアグッズや家電製品など、新郎新婦が新居で使うものがメインです。
これはありがたいメイクな結果も生まないし、お客さんも悩まなくて済むし、なるほどな〜と思いました。
ただ家が遠かったり、忙しくて事前にデパートに行けないお客さんは、ちょっと面倒…とったりも(笑)

結婚後も、仕事を続ける女性は多いですか?

フィリピンのお母さんは、収入を得て、なおかつ子育てもする肝っ玉母さんが多いです。
それも、会社が「家族優先」の精神に理解を示しているから、というのが大きいと思います。
そして、女性が家族を食べさせている家庭がすごく多い!! 働かない男性も多い!! (笑) 基本的に女性が大威張り、男性がすごく優しくてスイートです。これはほんとに、若干男尊女卑なところもある日本です。私にとっても「素晴らしい!!」という感じですね。

華やかなクリスマスや賑やかなお祭り。フィリピンの方々はそれらを思う存分楽しんでいました。
笹山さんのお話にもあるような“女性の社会進出”の場面に限らず、全ての根源に「家族優先」の精神が存在しているからこそ、仕事も遊びも楽しめているのかもしれないね。

フィリピンのお話は今回で終わり。次回からはスリランカについてご紹介します。